



令和2年度 第2回まなびあいサロン

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を十分に行い、9月2日（水）に、第2回まなびあいサロンを開催いたしました。みみちゃん教室や幼稚部の保護者の皆様、15名が参加してくださいました。

テーマ：『楽しく遊んで楽しい子育て』

講師：本校 地域支援センター 講師 阿部 敬子



子どもの発達とことば

ことばを豊かにするために・・・

「心を通わせた楽しいかたり合い」・「心を聴きあう楽しいやりとり」

—毎日の生活の中でできること—

○あるがままに受け入れる

○ほめる

○はげます

○一緒に遊ぶ

○呼びかけに答える

○いいことわるいことを教える

○生活リズムを整える

具体的にはどうすればいい？

- 1 子どものやっていること（動作）をそのまままねしましょう
- 2 子どもの出している音声やことばをそのまままねしましょう
- 3 子どもの行動や気持ちをことばにして話しかけましょう
- 4 大人が自分のしていることや気持ちをきちんと話しましょう
- 5 子どもの言い誤りをさりげなく正しく言い直して返しましょう
- 6 子どもの言ったことばを内容を広げて返しましょう
- 7 子どもの話題に沿いながら、新しいことばのモデルを示しましょう



「しゃべる」と「食べる」

「お話しする」こと「食べる」こと、どちらも口を使います。口を上手に使って食べることは、上手に話すことにつながります。

体験：棒状のお菓子を手を使わずに食べて、口の使い方を意識してみましよう！

食べるということは・・・

唇でしっかり押さえかじり取る → 噛み砕く → 舌でまとめて飲み込む

※唇を閉じて息を止めないと飲み込めない！ 舌や息の調整が必要 → 発音と同じ！

食べることは、はじめてとの出会い、新しい挑戦をすること！

安心感や信頼感のおける心地よい人と食事をする中で、はじめて見る食べ物や味にも挑戦しようという気持ちや「おいしいね」など共感する喜びを味わうことができます。この力が、人のかかわる力になり、社会性の発達にもつながっていきます。

発育・発達段階に応じた豊かな食とことばの体験の積み重ねを！！

～参加者の感想～

☆「食べる」と「しゃべる」について印象に残りました。私にとってあたりまえのことが上手に話すことにつながるのだと知りとっても大切なことだと思った。子どものありのままの姿を受け止めながら、目と目を合わせて、ていねいにかかわることが大切であると改めて学ぶことができました。